広報伊方町

発行所 愛媛県西宇和郡 伊方町
編集 町長公室
印刷所 尾上印刷所 八幡浜市大神通 電話(0894)

待望の有寿来簡水完成

慢性断水に歯止め！ 渇水期でも大丈夫

伊方越、亀浦、九町越に待望の有寿来地区簡易水道施設が完成、今月中旬には、給水が行われることになりました。

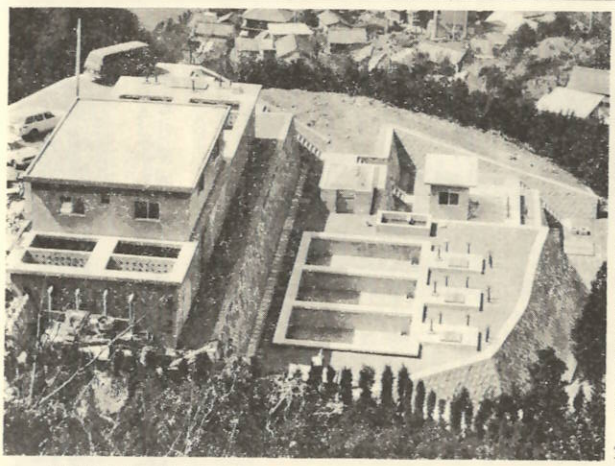
この施設は、保内町境の鯛ノ浦川から日量九百五十トン、亀浦の西ノ川、西柿ケ谷水源から七百五十トンを取水、あわせると二千七百トンの流水をろ過して、伊方越、亀浦、九町越へ送水するものです。

有寿来地区の水道施設には、伊方越に町が管理する日量五十トンあまりの流水ろ過施設、亀浦には部落管理の簡易ろ過施設、九町越には、四電伊方原子力発電所従業員用の雑用水施設、日量七百五十トンあまりの施設が使われていましたが、いずれも充分な施設ではなく、水量にも乏しく、渇水期には飲料水にもことかくことがたびたびあります。

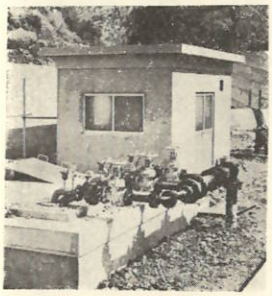
昭和四十七年から町や町議会に対し、水道施設の整備に対する請願、陳情が出されていました。

完成した施設は、水量の豊富な鯛ノ浦川を新水源に、延長六キロメートルにおよぶ送水管を埋設、伊方越浄水場、柿ケ谷浄水場など五ケ所に新しく施設を設けました。

工事費は、総額四億八千万円（設計管理委託費一千万円含む）で、全額四国電力からの寄附により、国庫補助などによると数年もかかる大事業が、わずか八カ月で完成しました。



伊方越浄水場には中央制御室や沈殿池、かん速ろ過池、配水池があります。
鯛ノ川から送られた水を浄水にしてここから家庭へ配水します。



横を流れる鯛ノ浦川で取水し、ポンプで伊方越浄水場へ送ります。

一目でわかる流水量
最新の自動制御装置

鯛ノ浦川下流で取水した現水、日量九百五十トン（最大能力）は、ポンプで伊方越浄水場まで送られ、二百トンはろ過装置をとおり伊方越、亀浦へ配水します。

のこり七百五十トンは、さらに亀浦の柿ケ谷浄水場へ送られ、従来から使われていた西ノ川、西柿ケ谷水源からの七百五十トンの水とともにろ過して、九町越へ送水できる能力があります。

配管延長は六キロメートル（各家庭までの給水管を含めますと八キロメートル）におよび、直径百五十ミリのダクタイル鋳管で、衝撃にも強くさびにくいものを使っています。

また伊方越浄水場には、スイッチ一つで自動的にバルブが開閉する自動制御装置や、流水量が自動記録できる、近代装置を設けています。

消火栓は二十四カ所
料金は五月分から

今までの口径の小さい消火栓から、町内統一された六十五ミリ口径の消火栓が、伊方越に十三カ所、亀浦に十一カ所取り付けています。

また、家庭では五月使用分からメーター計量式になりますので、蛇口の止め忘れなどのないように注意をしてください。

豊富な水でも、ムダに使うと水量には限りがあります。

給水人口増で増収
水道料金据え置く

有寿来地区簡易水道の完成により、給水人口が増えました。

これにより、今年度は水道料の増収が見込まれ、今年度の水道料金の改定の必要はなくなりました。

また、毎年一般会計からの繰入れにより、赤字補てんをして水道会計の健全運営につとめてきましたが、五十五年度は一般会計からの繰入れの必要もなくなり、水道企業特別会計の本旨であります独立採制も保たれることになります。

一見集会所も完成
鉄筋コンクリート造二階建

建設中の二見集会所（鉄筋コンクリート造り二階建、延百二十一・一三平方米）が、三月末に完成しました。

工事費は一千百九十万円で、設計委託料などを含めますと、総事業費は一千三百二十六万円になります。

一階には和室が二部屋、調理室、洗面所が設けられ、二階は部落集会ができる広さの和室になっています。

工事費には、電源立地促進対策交付金五百万円が含まれています。

集会所は二見地区（6世帯）のコミュニティ活動の拠点として二見部落活用されます。

農家の代弁者15人
新農業委員さんきまる

三カ年の任期満了にともなう農業委員さんの改選が行われ、十五人の新しい委員さんが決まりました。

農業委員さんは、選挙によって選ばれる委員さん十人、学識経験者として議会から推せんされる委員さん二人、農業団体から推せんされる委員さん三人からなっています。

また、選挙委員さん十人は、耕作面積が十アール以上で、選挙権のある満二十歳以上の方々が、選挙によって選ばれることになって変えているものです。今年度は古屋敷集会所の建設が計画されています。

今回も立候補の受け付けを行いましたが、候補者が定数を越えなかったため無投票当選になりました。

新しい農業委員さんはつぎの方々で、今後三カ年（昭和五十八年三月二十二日まで）農家の代弁者としてご活躍いただきます。

▽選挙委員
山本長松（大茂）
松下政秋（仁田之浦）
丸山　勇（湊浦）
崎田富士弥（伊方越）
宮脇　勝（川永田）
河野吉一（豊之浦）
岩見正志（奥）
米沢秀夫（須賀）
上口久志（二見）
上馬晴明（加周）

▽選任一号委員
辻　成（町見農協長）
道上　正（伊方町農協長）
古田政春（町見農協専務）

▽選任二号委員
福田直吉（伊方町長）
重岡雅樹（産建委員長）

国民年金
保険料は忘れずに

昨年の四月から今年の三月分までの国民年金保険料は、もう納められましたか。まだ納めていない方は早目に納めてください。

保険料を納め忘れますと、万一事故があったときの障害年金や母子年金、将来の老令年金さえ受けることができなくなります。

もし、今年三月以前の保険料は納め忘れがある場合は、二年前までの分ならさかのぼって納めることができます。

また、国民年金の保険料は、一年分を前納することができます。前納しますと、月々納める手数もはぶけて、納め忘れもなくなります。納付額も分納しますと年に四万五千二百四十円ですが、前納しますと四万四千百五十円になり、二千百九十円割引きになります。

くわしいことは、役場住民課年金係までお問い合わせください。

人命救助の坂田・井上君ら
善行者を表彰

八幡浜教育事務所と町補導会では、昭和五十四年度の善行者表彰を行いました。

表彰されたみなさんは、家の手伝いがよくできたり、児童会や下級生の世話など他の模範となる良い子たちで、今年度は一分団と十八人の小中学生に贈ったものです。

八幡浜教育事務所

○木下麻紀（水ケ浦小）
下級生の世話、家の手伝いがよくできた。
○神野たみ（伊方小）
母の手伝い、弟妹の世話かよく立派にできた。
○橋本明子（伊方小）
両親のないにもかかわらず、祖母をよく手伝っている。
○井上　太（有寿来小）
母親を助け、よく家の手伝いをしている。
○井上澄香（豊之浦小）
家の手伝い、妹の世話がよくできた。
○坂田真一（豊之浦小）
幼児が海に落ちたのを助けた。
○堀内りえ（九町小）
よく手伝いができ、明るい家庭づくりに努めた。
○渡辺はづき（二見小）
家の手伝い、通学指導がよくできた。
○井上澄彦（伊方中）
幼児が海に落ちたのを助けた。
○中藤一成（伊方中）
家の手伝いがよくできた。
○池上　隆（町見中）
家族の一員として、新聞配達など家の手伝いに精励できた。

町補導会

○明神寿美（水ケ浦小）
奉仕作業ぶりが他の模範であった。
○田中欽也（伊方小）
母親の手伝いがよくできた。
○田中奈美（有寿来小）
児童会・下級生の世話がよくできた。
○坂田文也（豊之浦小）
家の手伝い、弟妹の世話がよくできた。
○中村恵子（九町小）
児童会、奉仕作業、家の手伝いがよくできた。
○田之浦分団（二見小）
よく協力して分団活動ができた。
○松本勇二（伊方中）
日曜・祭日・長期休業など毎日気象観測ができた。
○浪下輝彦（町見中）
父母の家業をよく手伝っている。

西本さんから香典返しに十万円

福岡市昭代町二十三五にお住いで、西本工務店を手広く経営されている西本鉄一氏（中浦出身）から、母堂の香典返しとして十万円の寄附があり手した。

町では、このご厚意を受けさっそく救急医療対策推進基金へ積立ることにし、有意義に活用させていただきます。

紙上より厚くお礼申しあげますとともに、ますますのご活躍とご健康をお祈り申しあげます。

安全は家庭の中から

四月六日から十五日まで　春の全国交通安全運動

四月六日から十五日まで、恒例の「春の全国交通安全運動」が行われます。

昨年一年間の全国における交通事故死者は、八千四百六十一人で前年より三百二十二人少なく、昭和四十六年以来「九年連続の減少」となりました。

一方、県下における交通事故は、発生件数、死者、負傷者ともいずれも増加するという最悪の結果になっています。

自動車は交通ルールを守り、安全運転をすれば私達の生活に大きく貢献しますが、ルールを無視した運転をする

正しい横断と安全歩道の励行を！

死亡事故の約半数は歩行者や自転車によるものです。

郡内でも、自転車で通学中の高校生が、交差点で大型車と接触して死亡するという、痛ましい事故が発生しています。

四月からは新入学児の登校が始まります。今までとは異った生活習慣となり、行動範囲も広くなります。

新入学児をもつ家庭では、通学中の心得、家に帰ってからの行動に充分な注意をしてください。子供の事故防止

子供の事故防止

と「走る凶器」に豹変します。

運転する人はもちろん安全運転に心がけなければなりませんが、歩行者が無謀な横断や飛び出しなどをすると、事故はいっそうに減りません。

春の交通安全運動では、特につぎのことを重点目標にしています。

二輪車は昼間もライトをつけよう

県下における二輪車事故を昼夜別にみますと、昼間の事故が八十パーセント以上を占めています。

二輪車は大型車などの死角になりやすいため、ライトをつけて存在をはっきりさせることが、事故防止の目的です。

なお、ライトをつけて走る場合には、バッテリー液の点検と他車の発光をしてください。

シートベルトの着用を

シートベルトを着用していればなぜ安全か……。

たかが一本のベルトぐらいと思いがちですが、シートベルトを着用していれば死亡事故も、十人のうち九人までが助かったであろうと言われています。

自動車事故は衝突のショックで、車内のハンドルやフロントガラスにぶつかる場合と、車の外にほうり出されて、路面や障害物に激突する場合がほとんどです。

これらの事故から、体の上部を保護するのがシートベルトの役割です。シートベルトを着用する習慣をつけましょう。

駐在所から……

国道一九七号線バイパスの整備が進むにつれて、通学路や町中での交通量は減少してきましたが、減少した国道沿いの駐車違反と国道バイパスにおける交通事故、違反が激増しています。

事故が起ってからでは遅すぎます。これくらいと思う油断が事故の原因になっています。

充分注意をして、交通事故の防止に努めてください。

本町が優秀自治体で全国町村会長表彰

本町が地方自治優秀町村としてで、全国町村会長から表彰をうけました。

今年は県下で、本町と愛媛郡の宮浦町が選ばれました。

これは本町が地方公共団体として、健全な発展をとげていることが認められたものです。昭和三十年に伊方町が誕生して以来、先輩諸の方々をはじめ、町長のみなさん方の町づくりに対する深いご理解と、ご協力がとけこみのったものです。

このことも、町発展のために、より一層のご協力をお願いします。

辻・中川さんにカメラ

お年玉付年賀ハガキ

ことしのお年玉付年賀ハガキの景品引き換えが郵便局で行われていますが、豊之浦の辻撮さんと中川鉄太郎さんに、二等ポケットカメラが当りました。

辻、中川さんは思わぬプレゼントに大喜びです。

この人　この趣味　№9

尺八を始めて四十年

田丸久一さん（奥）

日本民謡には尺八も和とも言うべき楽器に、尺八があります。

この尺八は中国から伝わった竹制の縦笛で、長さの基準を一尺八寸（約五十四・五センチメートル）に定められたのが、尺八と呼ばれるようになったと伝えられています。

今月の「この人、この趣味」は、尺八の音色がたまらなく好きだという九町奥の田丸久一さん（五十八歳）を紹介します。

田丸さんは、尺八を始めてから四十年あまりにもなります。昭和十六年ごろ、働き先の山口県宇部市で尺八の音色を聞き、自分でも音を出してみようと、十九歳の時から二年間、当時の大日本竹道学園の教授所に通って、琴古流を習われたそうです。

尺八には、初伝、中伝、奥伝、師範と続く陶冶制度があるそうですが、二年たらずで中伝の免状をもらわれています。

「今はもう形式より、自分で楽しんでいます。」と言われる田丸さんは、雨の日や夜一人になって部屋の格子にすわったり、窓にしゃがみこして自由に楽しんでおられます。

長年趣味としてやってこれたのも、静かな場所と自由にいられる時間を与えてくれる家族のおかげと……家族への感謝も忘れません。畑仕事の合間に山の中で、鳥を相手に尺八を吹いたり、時には奥さんと二人で、大洲市あたりまでも演奏会を聞きに行くなど、無類の尺八愛好家です。

尺八のよさは……お金のかからないこと、一本の尺八さえあれば手軽で、一人でも自由に楽しめることにあるそうです。

田丸さんが今一番思うことは、町内に同じ仲間がいて、練習や発表の機会がほしいと言うことです。町内のみなさんの中に、尺八の心得のあるかたがありましたら、一緒に楽しまれてはいかがでしょうか……。

近い将来伊方でも、尺八の演奏会が出来る日が来ることを楽しみに、ますますのご健康とご活躍をお祈り申しあげます。

田丸さんの尺八には40年の年輪がきざまれています。

町の話題

？？　ノッポタワー出現　？？

湊浦の伊方小学校横に、地上三十メートルのノッポタワーが出現……話題になっています。

このノッポタワーは、八幡浜電報電話局が災害、非常時の電話無線の中継局として建設したものです。

現在の電話は、八幡浜電報電話局から三崎方面は、有線ケーブルによりみなさんの家庭の電話器とつながっていますが、災害、非常時のケーブル断線などのトラブルを防ぐため、無線による電話通信施設を設けているものです。

とかく足元や山方は、よく気づくものですが、空を見上げたりする機会が少ないのでは……、時には空を見上げてみてはどうでしょうか、今までと違ったことに気づくかもわかりません。

常々山からの電波をキャッチしてみなさんの家庭の電話器とつながります。

献血にご協力を！

月日	時間	場所
4月17日	18：00～20：00	保健センター前
18日	9：00～12：00	役場前
〃	13：00～16：00	町見支所前

婦人検診を進んで受けましょう

月日	時間	場所	対象地区
5月12日	13：00～14：00	大浜集会所	大浜・中之浜
13日	〃	保健センター	湊浦・小中浦・河内・仁田之浜・伊方越・亀浦
14日	〃	川永田公民館	川永田・中浦・豊之浦
15日	〃	町見〃	奥・向・畑・須賀・久保・西
16日	〃	二見〃	加周・田之浦・古原敷・二見・大成・鳥津

人

昭和55年2月末現在
世帯数 2,549戸（－3戸）
人口 8,964人（－2人）　男4,294人（－2人）　女4,670人（－2人）

投稿

初暮

初風や白帆たゆたう遠都
初空に丁標の浮く隠海地
破魔矢受く巫女の神事を畏みつ
好日の新年つ帰路も寒の星
勝利の系る茶室に身を正す

大阪府泉佐野市　清水寿鶴子（宮浦出身）

お礼

愛知県豊田市京ケ峰一二四一二初次アパート三〇七に住い の井上天九郎氏（銀賀出身）より五千円。

広報編集にとご寄附いただきました。

紙上より厚くお礼申し上げますとともに、こんげますますのご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

えんむすび

昭和55年2月1日～2月29日

お誕生おめでとう　よい子に育ってください

昭和55年2月1日～2月29日

おくやみ

昭和55年2月1日～2月29日